

はつかいち福祉ねっと

取組まとめ

～令和5年度～

注)資料内の「※中止」の記載は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった取組です。

全体会

【目的など】

はつかいち福祉ねっと全体の計画・実績・方向性や地域課題、政策提言等の共有を行います。

【これまでの主な取組】

- ・ はつかいち福祉ねっと部会報告(取組計画・取組報告)(平成20年度～)
- ・ きらりあ活動報告(平成20年度～)
- ・ 市の計画について
 - 「第3次障がい者福祉計画について」(平成26年度～)
 - 「第5期廿日市市障がい福祉計画について」(平成29年度)
 - 「第6期廿日市市障がい福祉計画について」(令和2年度)
- ・ 研修
 - 「障害者差別解消法について～法律の概要と活用のポイント」「地域生活支援拠点について」「みんなしあわせ～つばさという“場”から地域福祉の根っこを探る」(平成28年度)
 - 「すべての福祉の道は「地域福祉」に通ず」「一般企業における障がい者雇用について」(平成29年度)
 - 「広島市における医療的ケア児を地域で支援するための協議の場の設置状況について」「発達障がいってどんなもの?～疑似体験をしてみましよう～」(平成30年度)
 - 「防災(出前トーク)」「総社市地域自立支援協議会の取り組みと総社市における引きこもり支援について」(令和元年度)
 - 「NPO法人ほっと吉和の取組について」(令和2年度)
 - 「広島市における災害時の障がい者支援と取組」「新型コロナウイルス感染症と障がいのある人の生活について」(令和3年度)
 - 「自立支援協議会と地域づくり」「誰もが安心して暮らすことのできる地域を目指して～石川県金沢市の課題とその解決にむけた取組み～」(令和4年度)
- ・ ステージ発表(平成24年度～)・事業所・団体紹介(平成27年度～)・事業所製品の販売・展示(平成27年度～) ※令和2年度より中止
- ・ 障がい者スポーツ体験(平成25年度)

【構成団体】

当事者・家族団体、福祉サービス事業所、医療機関、行政機関、教育機関、民生委員児童委員協議会等(約251団体・機関)

【令和5年度 取組計画】

- ① 令和4年度相談支援実績報告
- ② はつかいち福祉ねっとの取組報告、計画共有
- ③ 研修会
- ④ 第3次廿日市市障がい者計画・第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画推進
第4次廿日市市障がい者計画・第7期廿日市市障がい福祉計画・第3期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組

【令和5年度 取組報告】

新型コロナウイルスが5類に移行され、今年度の全体会は、現地の参加者の人数制限を行わず実施しました。

7月の全体会では、令和4年度の取組と令和5年度の取組計画について各部会代表者から報告し、その後、「地域で暮らそう～災害時における障がいのある方への支援について～」(講師：倉敷地域基幹相談支援センター施設長 永田拓さん)というテーマで研修を行いました。

2月の全体会は、当事者からの声を聴きたいという意見から、当事者からのメッセージ「私たち、日々こんな生活をしています!」を企画し、障がい別会議(身体障がい部会・知的障がい部会・精神障がい部会)より日々の生活を発表しました。



全体会の様子

部会代表者会議

【目的など】

専門部会(障がい別会議・課題別会議)の代表者を構成員とし、はつかいち福祉ねっとの取組全般に関する情報共有や必要事項の協議を行います。

【構成団体】

①身体障がい部会②知的障がい部会③精神障がい部会④こども部会(休止中)⑤わかりやすい情報部会(わかりやすい情報発信プロジェクト、手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト)⑥就労支援部会(福祉就労ワーキング、特別支援学校進路ワーキング)⑦発達支援部会⑧医療的ケア児(者)部会⑨地域生活支援部会(精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムワーキング、余暇活動支援ワーキング、訪問介護事業所連絡会、防災プロジェクト、地域生活支援システムプロジェクト)⑩相談支援部会⑪学習・啓発部会(権利擁護ワーキング、“障害者週間”ワーキング、“発達障害啓発週間”ワーキング)

【令和5年度 取組報告】

年4回の会議(5月18日、6月15日、11月16日、1月25日)を開催しました。各部会の取組状況を共有しながら、全体会等の福祉ねっとの取組全般に関わる内容や、部会・ワーキングの枠を超えた共催企画等について協議しました。



会議の様子(部会代表者会議・計画推進会議)

計画推進会議

【目的など】

「廿日市市障がい者計画・廿日市市障がい福祉計画・廿日市市障がい児福祉計画」をPDCAサイクルで推進するために、地域課題やはつかいち福祉ねっとでの取組について協議を行います。

【構成団体】

①身体障がい部会②知的障がい部会③精神障がい部会④こども部会(休止中)⑤わかりやすい情報部会(わかりやすい情報発信プロジェクト、手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト)⑥就労支援部会(福祉就労ワーキング、特別支援学校進路ワーキング)⑦発達支援部会⑧医療的ケア児(者)部会⑨地域生活支援部会(精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムワーキング、余暇活動支援ワーキング、訪問介護事業所連絡会、防災プロジェクト、地域生活支援システムプロジェクト)⑩相談支援部会⑪学習・啓発部会(権利擁護ワーキング、“障害者週間”ワーキング、“発達障害啓発週間”ワーキング)

【令和5年度 取組計画】

- ①年間2回の会議開催
- ②「第3次廿日市市障がい者計画」「第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画策」をPDCAサイクルで推進するための協議
- ③「第4次廿日市市障がい者計画・第7期廿日市市障がい福祉計画・第3期廿日市市障がい児福祉計画」策定に係る協議

【令和5年度 取組報告】

年2回の会議では「第3次廿日市市障がい者計画・第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画」に関する市の進捗状況や意見交換、「第4次廿日市市障がい者計画・第7期廿日市市障がい福祉計画・第3期廿日市市障がい児福祉計画」策定に向けたスケジュール確認や地域課題の共有等を行いました。

「第4次廿日市市障がい者計画」については、10年ぶり(現計画が1年延長)の策定となるため、各障がい会議等で現状に即した内容となるよう、地域課題の整理を行いました。



身体障がい部会

【目的など】

障がいのある人・家族・支援者が定期的集まり、障がいのある人の困りごと等様々な意見を汲み上げ、解決策を検討しています。

また、みんなでスポーツを楽しみ、安心して外出できる街づくりのための取組も行っています。

【これまでの主な取組】

- ・おりづる出前教室
健康づくり講演・料理教室・レクスポなど(平成22年度～)
- ・まち点検実施
H23年度(廿日市市役所駅前～JR宮内串戸～阿品駅周辺)
H24年度(宮島口駅周辺)
H25年度(宮島点検)
※廿日市市障害者福祉協会「宮島安心ガイドマップ」作成に協力
H26年度(宮島安心ガイドマップを利用した点検)
H27年度(平良市民活動センターのリニューアル、JR大野浦駅周辺地区整備の廿日市市担当課と意見交換)
H28年度(JR廿日市駅及びJR廿日市駅周辺地区整備)
H30年度(JR廿日市駅南口、JR大野浦駅)
R元年度(TOTO宮島おもてなしトイレ他)
R2年度(宮島口旅客ターミナル点検、あいプラザ・宮島ケビン改修工事の意見提出)
R3年度(筏津地区公共施設再編事業の市担当課と意見交換)
R4年度(広電宮島口駅リニューアル、みやじままちづくり交流センター)
- ・あいプラザ消防訓練に参加(平成27年度～)
- ・“障害者週間”イベント(ゆめタウン廿日市)に参加(平成27年度～)

【構成団体】

- ①廿日市市障害者福祉協会②大野障害者団体連絡協議会③廿日市市障害者団体連絡会④視覚障害者の会「椿会」⑤全国障害者問題研究会廿日市サークル⑥佐伯地区ろうあ協会廿日市支部⑦広島ひかり園家族会⑧広島ひかり園⑨特定非営利活動法人 日本頸髄損傷 LifeNet⑩広島県難聴者・中途失聴者支援協会廿日市支部

【令和5年度 取組計画】

- ① おりづる出前教室⇒障がい者スポーツを体験する(ポッチャ)
- ② まち点検 ⇒おおのハートバスに乗ってみる、まるくる大野の完成後の点検
- ③ 防災(啓発活動・避難訓練)⇒3/11 あいプラザ避難訓練
- ④ “障害者週間”を活用しての啓発活動
⇒12/4～12/11 あいプラザ1階ロビー展示参加(椿会)
- ⑤ 第3次廿日市市障がい者計画・第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画推進
- ⑥ 第4次廿日市市障がい者計画・第7期廿日市市障がい福祉計画・第3期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組

【令和5年度 取組報告】

2年前に建物図面を点検した「まるくる大野」が、市民センター・図書館・体育館などの複合施設として開館しました。担当課へ意見を述べた箇所がどのようになっているか確認をすることも含めて「まち点検」に出かけました。現地へ交通機関を利用して行く方は「おおのハートバス」を利用し、障がいのある方に乗りやすい交通機関かどうか確認しました。点検にはチェックリストを使用し、意見の集約をしました。出された意見を施設担当者へ伝え、情報共有をしました。

定例会では「第7期廿日市市障がい福祉計画・第3期廿日市市障がい児福祉計画」の策定年になっており、今までに出された地域課題や意見を、時間をかけて確認や見直しを行いました。部会メンバーからたくさんの意見が出され、意見交換が活発に行われました。

令和5年度から市スポーツ推進課の取組として、廿日市市スポーツセンターサンチェリーで障がい者スポーツ「みんなのスポーツ体験会」が、月に一度開催されています。このイベントに部会から参加し、ポッチャの体験をしました。

“障害者週間”ワーキングのイベントは、あいプラザ1階ロビーでの展示による啓発活動に視覚障がい者の会「椿会」が参加しました。



部会の様子



まち点検の様子

知的障がい部会

【目的など】

家族会や本人・家族を支援している事業所が集まり、個人や一団体だけでは解決できない地域課題を共有し、行政や関係団体と連携しながら、その課題解決に向けて取り組んでいます。部会内の情報交換や学習会等の実施により、団体間の親睦も深まっています。

【これまでの主な取組】

- ・リーフレット「なってください！サポーターに」作成(こども部会と共同)(平成20年度)
- ・「サポートファイル学習会」(こども部会・発達支援部会と共同)(平成22年度)
- ・おりづる出前教室「ゆるゆるビクス」「レクスポ」など
(平成23年度～)※令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ・「東日本大震災被災体験講演」(平成24年度)
- ・「要援護者避難支援制度学習会」(平成25年度)
- ・障がいのある人が利用している理・美容院、医療機関の情報収集(平成27年度～)
- ・地域生活支援拠点に関する情報収集、学習(平成27年度)
- ・あいプラザ消防訓練に参加(平成27年度～)
- ・就労に関する学習(平成28年度)
- ・学習「障害福祉サービス」「特殊詐欺等」(平成29年度)
- ・学習「障がい福祉サービス(介護保険移行)」(平成30年度)
- ・学習「ネット犯罪・ネット詐欺に関する学習会」(令和元年度)
- ・佐伯地区歯科医師会との意見交換会(市主催)への参加(令和4年度)

【構成団体】

①ピクトハウス家族会②友和の里保護者会(通所部)③友和の里保護者会(入所部)④廿日市市手をつなぐ育成会⑤くさのみ作業所家族会⑥障害者施設・原家族会⑦おのおの手をつなぐ育成会⑧ファミリーレ⑨虹の会⑩日本ダウン症協会(はつかいち)⑪あおぞら家族会⑫くさのみ作業所⑬ピクトハウス⑭友和の里⑮アダージョ⑯障害者支援施設原⑰ふれあい生活介護⑱あおぞら⑲あうるワークスペース⑳おおの共同作業所㉑りあん

【令和5年度 取組計画】

- ①障がいのある人が利用している理・美容院、医療機関情報集約
→医療関係者との情報交換(医療機関情報)、集約した情報の更新・公開
- ②防災に関する取組(学習会開催、あいプラザ消防訓練参加)
- ③情報交換(家族団体グループ・事業所グループ)
- ④学習(本人向け防犯対策等)
- ⑤おりづる出前教室 ゆるゆるビクス
- ⑥事業所見学(オンライン活用)
- ⑦第3次廿日市市障がい者計画・第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画推進
第4次廿日市市障がい者計画・第7期廿日市市障がい者福祉計画・第3期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組

【令和5年度 取組報告】

家族団体グループと事業所グループに分かれ情報交換を実施し、福祉サービスの利用状況や事業所での取組を共有しながら互いのことを知りあうことができました。

また、以前から上がっていた「福祉サービスを利用したくても利用ができない状況がある」という声から、知的障がい部会構成団体の方を対象に『サービス利用に関するアンケート』調査をしました。多くの方から回答をいただき、人材不足や事業所不足により、サービスを受けたくても受けられない切実な思いや今後の不安など、たくさんの意見がありました。内容を部会で共有し、今後の知的障がい部会の取組や、毎年実施している第3次廿日市市障がい者計画・第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画のPDCAサイクルによる見直し、次期計画策定の参考にしていきます。

防災に関する取組として、3月11日(月)のあいプラザ消防訓練に4事業所の利用者・職員合わせて41名が参加し、火災時の避難や水消火器の体験を行いました。

学習会(本人向け防犯対策等)や佐伯地区医師会との意見交換会(市主催)の内容について検討しましたが、開催については令和6度に見送ることとなりました。



定例会の様子

精神障がい部会

【目的など】

廿日市市の精神障がいのある人やご家族が安心して地域生活を送るために、当事者・ご家族・支援者などが定期的に会議を開催し、情報共有や、研修など地域啓発に取り組んでいます。

【これまでの主な取組】

- ・研修(主催：廿日市市、共催：はつかいち福祉ねっと)
 - 「発達障害のある人・家族の気持ちと支援のあり方」(平成28年度)
 - 「あなたの知らないお酒の世界」(平成29年度)
 - 「高次脳障がい者のための知っておきたいエピソード」(平成29年度)
 - 「発達障がい児・者への援助と利用」(平成29年度)
 - 「もっと知ってほしい！高次脳機能障害のこと」(平成30年度)
 - 「災害時のこころのケアとトイレ問題」(令和元年度)
 - 「アルコール依存症について」(令和2年度)
 - 「うつ病の基本的理解と支援について」(令和3年度)
 - 「統合失調症の基本的理解と支援について」(令和3年度)
- ・おりづる出前教室(平成23年度～)
- ・当事者主体の地域交流事業
 - 備北丘陵公園(平成26年度)
 - 安佐動物公園(平成27年度)
 - 尾道千光寺公園日帰り旅行(平成28年度)
 - みんなで作った餃子をみんなで食べる!!お食事会(平成29年度)
 - 温井ダム見学(平成30年度)
 - 蜂が峯公園(令和元年度)
 - 事業所紹介上映会(令和2年度)



交流企画の様子

【構成団体】

①精神障害者家族会こぶし会②大野精神障害者家族会あいあい③高次脳機能障害家族会「シェイキングハンズ」廿日市地区会④さくら作業所⑤あいあい作業所⑥友和病院⑦訪問看護ステーションゆうわ⑧訪問看護ステーションこころれ廿日市⑨エスペランサ⑩あうるホーム フィーカ⑪にじのえき⑫コーヒーショップあんず⑬ハナミズキ⑭あおぞら⑮きらほし⑯りあん⑰広島断酒ふたば会南支部⑱相談支援事業所エスペランサ⑲さくら相談支援事業所⑳相談支援事業所あおぞら㉑串戸心療クリニック㉒訪問看護ステーション和み㉓廿日市記念病院㉔広島県西部保健所㉕市社会福祉協議会

【令和5年度 取組計画】

- ①精神障がいに対する理解と啓発
- ②高次脳機能障がいに対する理解と啓発
- ③おりづる出前教室
- ④交流企画
- ⑤勉強会
- ⑥第3次廿日市市障がい者計画・第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画推進
- ⑦第4次廿日市市障がい者計画・第7期廿日市市障がい福祉計画・第3期廿日市市障がい児福祉計画策定に向けた取組

【令和5年度 取組報告】

月に1度定例会を開催しました。計画策定に向け地域課題についての意見交換を主とした協議を行いました。

11月10日(金)、精神障がい部会の交流企画を行いました。令和元年度に企画を行って以降、新型コロナウイルスの拡大等により自粛が続いていましたが、4年ぶりに部会のみなさんからの希望もあり開催しました。雨天となり、急遽場所を浅原市民センターに変更し、62名でレクリエーションを行いました。午前には事業所紹介を行った後、〇×ゲームを楽しみました。館内でお弁当を食べ、午後からはペットボトルリレーやローブリレーで盛り上がりました。

こども部会(令和3年度～休止)

【目的など】

子どもたちが明るく楽しく生きていけるよう、保護者団体が課題を共有し、行政、関係団体とも連携しながら課題解決に向けた話し合いや取組を行うことを目的としています。主な活動として、余暇活動の充実のための保護者企画や地域とのつながりづくりのための取組、情報交換、学習会等を行っており、これらの活動を通して、団体間の親睦を深めています。

【これまでの主な取組】

- ・「リーフレット「なってください!サポーターに」作成(知的障がい部会と共同)(平成20年度)
- ・「サポートファイル学習会」(平成21、22年度)
- ・「夏休み・留守家庭児童会アンケート」実施(放課後・長期休暇ワーキングと共同)(平成22年度)
- ・“地域とのつながりづくり”アンケート(平成23年度～)
- ・「冬の宮島親子スタンプラリー」(平成24年度)
- ・「支援者(保護者)が知っておくべき障害年金手続きの始め方・取り組み方」(権利擁護部会と共催)(平成25年度)
- ・おりづる出前教室「レクスポ」(平成23～28年度)
- ・夏休み工作(手づくり)教室(平成25年度～)
- ・学習会「障がい児者のきょうだいについて」(平成27年度)
- ・“障害福祉サービス”等のべんり帖～こどもバージョン～作成(平成28年度)
- ・スポーツ吹矢づくり&体験(平成28、29年度)
- ・こども部会アンケート(平成29年度)

～令和2年度までの写真～



主任児童委員さんとの顔合わせの様子



“障害福祉サービス”等のべんり帖
～こどもバージョン～の作成



スポーツ吹矢づくり&体験の様子



夏休み工作(手づくり)教室の様子



定例会の様子



おりづる出前教室の様子



冬の宮島親子スタンプラリーの様子
(集合写真)

わかりやすい情報部会 わかりやすい情報発信プロジェクト

【目的など】

障がいのある方に制度や地域生活を送るために役立つ情報を発信していくことを目的としています。わかりやすい情報提供の方法の検討とともに、はつかいち福祉ねっとの取組を広く知っていただくことにも取り組みます。

【構成団体】

- ①はつかいち福祉ねっと有志
- ②さくら相談支援事業所
- ③市社会福祉協議会

【これまでの主な取組】

- ・福祉サービスガイドブック作成(平成20年度)
福祉サービスガイドブック改訂(平成24年度～)
- ・事業所紹介DVD作成(平成20年度)
(協力:廿日市市民活動センター)
- ・はつかいち福祉ねっと通信発行(平成20年度～)
- ・事業所一覧の作成・更新(平成21年度～)
- ・ホームページ開設・更新(平成22年度～)
- ・オンラインお試し会(令和2年度)
- ・相談窓口チラシ作成(令和3年度)
- ・視覚障がいのある方向けの情報(ホームページ掲載)チラシ作成(令和3年度)
- ・視覚障がいのある方向けの情報(ホームページ掲載)チラシの眼科への配布(令和4年度～)

【令和5年度 取組計画】

- ①はつかいち福祉ねっと通信発行
- ②事業所一覧・福祉サービスガイドブックなど、最新の情報を提供
- ③ホームページ等を活用した情報発信
- ④障がいのある人の情報収集方法に関する実態把握

【令和5年度 取組報告】

福祉サービスガイドブックを増刷し、障がいのある人やその家族、各支援機関等への配布を進めました。

年4回発行している「はつかいち福祉ねっと通信」は、福祉ねっと関係者以外にも、はつかいち福祉ねっとの活動を知っていただけるよう、廿日市内の市民センター、保育園等への配布を継続しました。

福祉ねっとのホームページを活用した情報発信も継続して行い、色々な人に分かりやすい情報が届くよう少しずつ取組を進めることができました。

これまで様々な情報の発信を継続して行ってきましたが、近年はインターネットやSNS等、情報収集方法の選択肢が増えている中「幅広い年代や障がい等、様々なニーズに対応した情報発信を行うにはどうすれば良いか」「インターネット等で情報が入るようになり、ニーズがどのぐらいあるのか」ということを考えていました。そして、令和5年度は障がいのある人等の情報収集方法に関する実態把握(第7期廿日市市障がい福祉計画・第3期廿日市市障がい児福祉計画のアンケート調査を参考)を行い、今後の取組について改めて検討しました(引き続き検討予定です)。



わかりやすい情報部会 手話言語 & コミュニケーション条例プロジェクト

【目的など】

「廿日市市手話言語の普及及び多様なコミュニケーション手段の利用促進によるやさしいまちづくり条例」に基づき進める施策について、具体的な意見を出し合いながら協議していくことを目的としています。

【これまでの主な取組】

プロジェクトは、市の条例制定に向けて、障がいのある人や家族、関係者の声を聴きながら取組を進めたいという市の意向を受けて平成29年11月に新設しました。

条例に対する色々な意見をいただきながら検討を進め、平成30年6月の廿日市市議会定例会で「廿日市市手話言語の普及及び多様なコミュニケーション手段の利用促進によるやさしいまちづくり条例」が可決され、平成30年7月1日から施行されました。

- ・「パンフレットの作成(一般版、わかりやすい版)」(平成30年度)
- ・「多様なコミュニケーションを学ぶ手話等体験研修(市の職員研修)」(平成30年度～)
- ・「人権フェスタ2018～障がいのある人もない人も一緒にコミュニケーション～」(平成30年度)
- ・地域の小学校の福祉学習への取り組み(令和元年度～)

【構成団体】

①佐伯地区ろうあ協会廿日市支部②視覚障害者の会「椿会」③廿日市市障害者団体連絡会④日本頸椎損傷LifeNet⑤NPO法人広島県難聴者・中途失聴者支援協会廿日市支部⑥廿日市市要約筆記サークルやじろべえ⑦要約筆記サークル小富士⑧友和の里保護者会(通所部)⑨くさのみ福祉会⑩高次脳機能障害家族会「シェイキングハンズ」廿日市地区会⑪にじのえき⑬廿日市市手話通訳者連絡協議会⑭市社会福祉協議会⑮市学校教育課

【令和5年度 取組計画】

障がい特性に応じたコミュニケーション手段の理解を深めるための普及に関する取組(学校、企業などでの普及啓発)

【令和5年度 取組報告】

廿日市市社会福祉協議会と連携して、地域の学校における福祉学習に積極的に取り組みました。2校の小学校で車いす利用の当事者から自身の体験談や、車いす生活での困りごとなどについての話をしてもらいました。

廿日市市新規採用職員研修の障がいがある人の体験談を聞くプログラム「多様なコミュニケーションを学ぶ手話等体験研修」に、プロジェクトのメンバー5名が参画しました。約30名の職員が参加し、障害福祉課からの「手話言語及びコミュニケーション条例」の説明の後、障がいの理解や、市の窓口でどのような配慮があるとよいか等についての講話を行いました。

また新たにショッピングモールや病院などの企業を訪問し、手話言語およびコミュニケーション条例の普及活動を行い、JA広島総合病院で学習会を実施することができました。



学校の福祉学習の様子



JA 総合病院での学習会の様子

就労支援部会 福祉就労ワーキング

【目的など】

福祉サービス事業所の連携による仕事づくりや販路拡大による工賃アップ、働く場づくり、そして日中活動の充実をめざして活動しています。

【これまでの主な取組】

- ・ワーキングの中で各事業所の現状報告をしながらの情報共有
- ・事業所商品のPR
 - ①事業所商品のカタログを作成し、イベントなどの景品として使用してもらう。
 - ②カタログについては市のホームページに掲載中
 - ③市役所ロビーショーケースでの展示
- ・協働して取り組める仕事の開拓
 - ①商工はつかいちの封入作業
 - ②アンケートのデータ入力作業
 - ③その他の内職作業、etc
- ・販路などの拡充に向けての取組
 - ①販路開拓のために宮島で事業所商品の見本市を実施(平成23年度)
 - ②info.表参道での常設販売(平成23年度～令和元年度)
 - ③市役所ロビー・大野文化ゾーン販売開始(平成27年度～)
 - ④ニューヤマザキデイリーストアー廿日市市役所売店常設販売(平成30年度～R6年3月 終了)
 - ⑤はつこいマーケット(宮島口ターミナル)常設販売(令和2年度～)

【構成団体】

- ① くさのみ作業所
- ②ピクトハウス
- ③夢工房
- ④にじのえき
- ⑤さくら作業所
- ⑥コーヒーショップあんず
- ⑦ハナミズキ
- ⑧あいあい作業所
- ⑨アダージョ
- ⑩障害者支援施設原
- ⑪広島ひかり園
- ⑫ふれあい生活介護
- ⑬友和の里
- ⑭多機能事業所ぱすてる
- ⑮Hana と花舎
- ⑯リバティーはつかいち
- ⑰あおぞら
- ⑱あうるワークスペース
- ⑲清風会みやじま
- ⑳なずな
- ㉑そらまめ
- ㉒おおの共同作業所
- ㉓ pas à pas(パザパ)
- ㉔レント
- ㉕omnibus roasters tokyo
- ㉖ねこぱんち
- ㉗きらほし
- ㉘だんでら
- ㉙いおん
- ㉚りあん

【令和5年度 取組計画】

- ①各事業所の取組情報の共有
- ②“障害者週間”に向けての取組
- ③商品カタログの更新(継続)
- ④協働で行えるプロジェクトの実施及び進捗状況の確認

【令和5年度 取組報告】

2か月に1度の定例会を開催し、取組の共有や近況報告を行いました。ゆめタウン廿日市様よりお声がけをいただき、3月30日(木)から4月2日(日)に啓発・販売イベントを開催しました。多くのお客様に来ていただき、イベント終了後も、事業所に来ていただけるなど、良い啓発の機会になりました。令和6年3月をもって、市役所内のヤマザキデイリーストアでの販売が終了となり、今後も啓発・販売の機会の確保や共同で行える仕事の獲得などを行ってまいります。

ワーキングの様子



事業所商品の売り場の様子

就労支援部会 特別支援学校進路ワーキング

【目的など】

「特別支援学校卒業生の就労の場が不足している」という課題の解決に向けて協議検討するとともに、各事業所・特別支援学校(廿日市市在住の生徒が在籍する市外特別支援学校も含む)の情報共有や廿日市特別支援学校卒業予定者の進路調整を行うことを目的にしています。

【これまでの主な取組】

- ・学校の卒業生見込み数と事業所の受け入れ見込み把握
(平成21年度～)
- ・廿日市市外の特別支援学校も参加(夏休み期間中1回)スタート
(平成23年度～)
- ・特別支援学校卒業生等にかかる就労継続支援B型の利用取扱い等について調整(平成25年度)



ワーキングの様子

【構成団体】

- ①広島県立廿日市特別支援学校②ハローワーク廿日市③広島西障がい者就業・生活支援センターもみじ

(夏休み期間中：くさのみ作業所、ピクトハウス、夢工房、にじのえき、さくら作業所、コーヒーショップあんず、ハナミズキ、アダージョ、レント、生活介護事業所原、就労継続支援事業所原、障害者支援施設広島ひかり園やすらぎ・まごころ、あいあい作業所、大野ふれあい生活介護事業所、障害福祉サービス事業所 pas à pas、友和の里通所部、ハートフルあまの、ぱすてる、ぱすてる大野原、Hanaと花舎、リバティーフつかいち、あおぞら、きらぼし、あうるワークスペース、清風会みやじま、なずな、そらまめ、そらまめ宮内、おおの共同作業所、Omnibus Roasters Tokyo、ねこぱんち、だんでらいおん、相談支援事業所原、指定一般相談支援事業所広島ひかり園、指定特定相談支援事業所広島ひかり園、障害児相談支援事業所PIECE宮園、指定特定相談支援事業所友和の里、さくら相談支援事業所、相談支援事業所くさのみ、相談支援事業所あおぞら、相談支援事業所そら、相談支援事業所いっぼ、あうるサポートセンター、相談支援事業所エスペランサ、ライフプランナーKIZUNA、相談支援センターあんさんぶる、市外特別支援学校)

【令和5年度 取組計画】

特別支援学校と進路先関係者等による情報共有(年4回)

※夏休み期間中ワーキング(2部構成)

- 前半：廿日市特別支援学校、市外特別支援学校にご参加いただき、市内福祉事業所の情報共有
- 後半：廿日市特別支援学校卒業予定者について廿日市特別支援学校と事業所でケース共有

【令和5年度 取組報告】

特別支援学校進路ワーキングでは、ワーキングメンバーで行う情報共有と夏休み期間中に、市内の日中活動系事業所や相談支援事業所にも参加していただく情報共有を行っています。夏休みワーキングは、コロナ禍から始まった現地とオンラインでのハイブリッド方式が定着し参加事業所も増えて、事業所空き状況や就労に関する情報や進路指導の状況など、幅広く情報共有ができました。

次のライフステージに進む生徒の皆さんへ、切れ目のない支援や一人ひとりに合った進路選択となるよう、情報共有や協議を行いながら卒業後の進路調整

発達支援部会

【目的など】

ライフステージを通して、切れ目ない発達支援ができるような体制整備に向けた検討を行うことを目的としています。

【これまでの主な取組】

- ・社会資源(保育・教育・福祉)、相談支援の現状整理(平成20年度)
- ・サポートファイルの普及啓発
 - 「サポートファイル学習会」(こども部会・知的障がい部会と共同)(平成22年度)
 - 「サポートファイル支援者向け学習会」(平成25年度)
 - 「サポートファイル活用に関する調整会議」(児童発達支援事業所)(平成26年度)
 - 「サポートファイル活用に関する関係者学習会及び調整会議」(令和3年度)
- ・発達障がいのある人のための相談窓口リーフレット「ポジティブライフガイド」作成(平成24年度)
- ・障がい児支援関係事業所連絡会の開催(平成28年度～)
- ・保護者向け学習会「将来を見据えた進路選択などに関する学習会」開催(令和4年度)

【構成団体】

- ①広島西こども発達支援センターくれよん②市教育委員会③市子育て応援室④市こども課⑤市社会福祉協議会⑥市障害福祉課⑦きらりあ
 ※障がい児支援関係事業所連絡会：市内障がい児支援関係事業所(児童発達支援センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、障がい児相談支援事業所、児童養護施設、母子生活支援施設等)

【令和5年度 取組計画】

- ①ポジティブライフガイド(2種類)の配布
 - 相談窓口リーフレット「ポジティブライフガイド」
 - 「ポジティブライフガイド～発達障がい支援ハンドブック(こども編)～」
- ②サポートファイル(「心つながりサポートファイルひろしま結愛」)の普及・啓発
- ③障がい児支援関係事業所連絡会の開催
- ④教育と福祉の連携についての検討
- ⑤保護者向け学習会の開催

【令和5年度 取組報告】

発達障がいのある人の相談窓口リーフレット「ポジティブライフガイド」は、乳幼児健診に来られる保護者や保育園・幼稚園・小中学校の保護者等への配布を継続しました。

保護者への情報提供や各関係機関の連携を進めるためのツールとして新たに作成(令和5年度完成)した「ポジティブライフガイド～発達障がい支援ハンドブック(こども編)～」(サポートファイル情報も掲載)は、各支援機関や保護者への配布を進めることができました。

年3回定期開催している障がい児支援関係事業所連絡会では、行政報告や学習(※)、グループワークを行いました。グループワークでは、第4次廿日市市障がい者計画・第7期廿日市市障がい福祉計画・第3期廿日市市障がい児福祉計画策定に係る地域課題等の共有や、事業所職員の資質向上等のための仕組みづくりに関する話し合いを行いました。

こども部会が休止となったことを受けて、発達支援部会で開催することとなっていた保護者向け学習会は、社会福祉協議会や障害福祉課主催で発達障がいのある子どもに関する講演会が行われたこともあり、発達支援部会での開催を見送りました。

※学習内容

「知的・発達障がい児の性教育について」

「障害児通所支援の今後の方向性と役割について」

講師：日本相談支援専門員協会 副代表理事

コンサルテーションサポート 森の入口 代表 金丸 博一さん



部会の様子



障がい児支援関係事業所連絡会の様子



医療的ケア児(者)部会

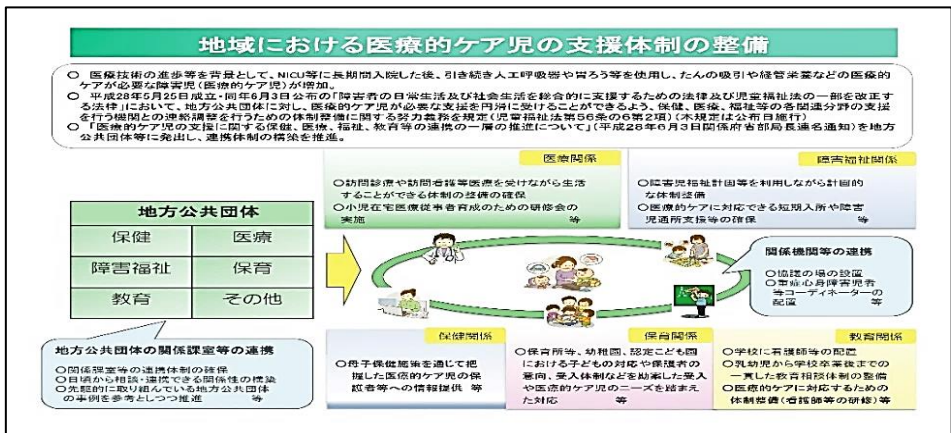
【目的など】

医療的ケア児(者)の地域の現状や課題を把握・検討するとともに、関係者会議等の開催を通して地域で支援に携わる保健、医療、福祉、教育等の連携を図ることを目的としています。

【構成団体】

①相談支援事業所あおぞら②指定特定相談支援事業所友和の里③子育て応援室④市こども課⑤市学校教育課⑥市障害福祉課⑦きらりあ(①②からは医療的ケア児等コーディネーターが参加)

※関係者会議：うるおい訪問看護ステーション、ハートフルステーションあまの、佐伯地区医師会訪問看護ステーション、もみじケア訪問看護ステーション、訪問看護ステーションなる、JA広島総合病院、大野浦病院、広島西医療センター、重症児・者福祉医療施設原、児童発達支援センターおひさま、広島西こども発達支援センターくれよん、放課後等デイサービススマイリー、ひなたぼっこ廿日市、相談支援事業所あおぞら、指定特定相談支援事業所友和の里、廿日市市特別支援学校、市子育て応援室、市こども課、市学校教育課、市障害福祉課



【令和5年度 取組計画】

医療的ケア児(者)部会関係者会議の開催

厚生労働省資料「医療的ケアが必要な子どもへの支援の充実に向けて」より抜粋
(平成30年10月3日)

【令和5年度 取組報告】

11月21日(火)に関係者会議を開催しました。

これまでの関係者会議で共有した地域課題等について資料をもとに振り返りを行い、考えられる解決策等について検討しました。

また、昨年立ち上がった広島県医療的ケア児支援センターについて、市障害福祉課から紹介がありました。このセンターの機能や活用方法等について「地域の皆さんと共有できるとよい」という関係者からの声を受け、2月28日(水)に、オンライン・現地参加併用でミニ学習会を開催しました。



研修会の様子

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムワーキング

【目的など】

精神障がいのある人が地域の一員として安心して自分らしい暮らしを送ることができるよう「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」の構築について協議することを目的としています。

【構成団体】

①廿日市市五師士会②さくら相談支援事業所③こころ一れ廿日市④広島県西部保健所⑤市社会福祉協議会⑥市障害福祉課⑦きらりあ

【これまでの主な取組】

- ・精神障害者に対応した地域包括ケアに関する地域診断
- ・地域包括ケアの実現に向けた状況整理票の作成
- ・居住支援会議での報告、情報共有
- ・事例検討
- ・家族会について関係機関に対してニーズ調査、ヒアリングの実施

【令和5年度 取組計画】

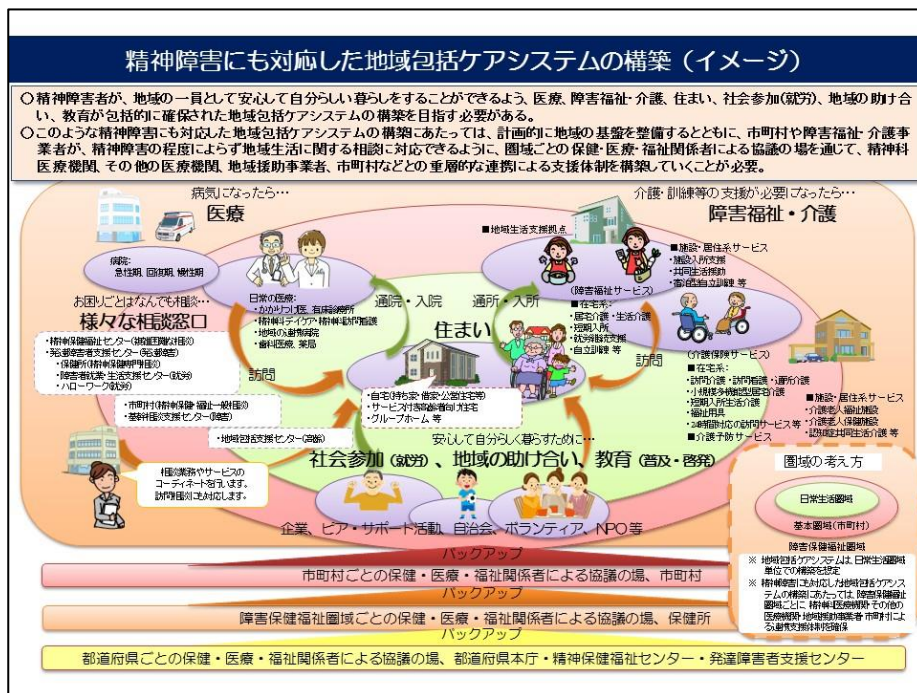
- ①精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの体制整備に関する情報共有
- ②多職種連携を意識した事例研究

【令和5年度 取組報告】

定期的に、事例を通じて、地域課題について検討を行いました。他職種からの意見や視点を共有しながら、多角的な支援の方向性などの検討を行うことができました。

退院後支援計画の学習を行いました。退院後支援計画とは、精神障がいのある人が、主に措置入院から地域生活に戻り、安心して生活を送っていくための支援計画です。退院後支援計画の作成方法や、計画に基づく支援の具体的な内容について学ぶことができました。また、関係機関のみんなで意見交換を行い、地域での退院後支援のあり方について考える機会となりました。

次期計画策定に向け、「にも包括」に関係する活動指標や見込量確保のための方策について情報共有を行いました。



事業所見学の様子

地域生活支援部会 余暇活動支援ワーキング

【目的など】

障がいのある人たちの余暇活動の充実を目的としています。
当初は、障がいのある子どもたちの放課後長期休暇中の課題(居場所づくり等)解決のために立ち上げたワーキングでしたが、子どもたちの社会資源が増えてきたため、現ワーキングへと移行しました。

【これまでの主な取組】

- ・関係事業所情報交換会(平成25年度)
- ・放課後長期休暇スキルアップ研修(平成25年度)
- ・障がい者スポーツ体験会(平成26年度～)
- ・カローリング交流会(平成26年度～令和元年度)
- ・ニュースポーツ体験会&カローリングミニ大会(令和4年度)
- ・クルージング(協力:JR西日本宮島フェリー)企画(平成27年度～令和元年度) ※平成25～26年度は事務局主催、
- ・「みんなの交通安全教室&広島県警察音楽隊演奏」(平成28年度～平成30年度)

放課後長期休暇ワーキング(平成20～24年度)

- ・社会資源整理
- ・放課後長期休暇ニーズ調査(平成20、21年度)
- ・長期休暇オープンスペース(平成22～24年度)
- ・おりづる講習会(支援者対象)(平成23年度)
- ・関係事業所情報交換会(平成20～24年度)

ワーキングの様子



【構成団体】

- ①あうるワークスペース②さくら相談支援事業所③市社会福祉協議会④はつかいち福祉ねっと有志

【令和5年度 取組計画】

障がいのある人の余暇活動に関するニーズ把握・取組検討

【令和5年度 取組報告】

障がいのある人の余暇活動に関するニーズ把握(第7期廿日市市障がい福祉計画・第3期廿日市市障がい児福祉計画のアンケート調査を参考)を行うとともに障がいのある人たちが活用できそうな社会資源の情報共有を行いました。

「スポーツ以外の余暇の取組もできると良い」という話も出ましたが、マンパワー等の課題があり、まずは、令和6年度に障がいのある人たちが参加できそうな地域資源の情報を収集し、一覧を作成するということとなりました。



「ニュースポーツ体験会&カローリングミニ大会」の様子(令和4年度)

地域生活支援部会 訪問介護事業所連絡会

【目的など】

「事業所同士の横のつながりが持てる機会があれば」の声で立ち上がった連絡会です。学習、情報交換、情報共有を通し個々のスキルと地域力UPをめざしています。連絡会でのつながりが現場の支援に役立っています。

【これまでの主な取組】

- ・講演会「気分障害について」(平成22年度)
- ・広島県障害者地域移行促進強化事業
「ヘルパーさんのための精神保健福祉講座」(平成23年度)
- ・研修会「障がいのある人への対応～思春期をむかえるにあたって～」(平成26年度)
- ・研修会「発達障害の心のケアーヘルパーや支援者がしていること、してはいけないこと」(平成27年度)
- ・講演会「障害児を持つ保護者の気持ちを理解するために」(平成28年度)
- ・なちゅは介護セミナー(平成24、25年度)
- ・リハビリテーションケアセミナー(平成27年度)
- ・介護技術向上研修(平成28、29、30年度)
- ・救命講習(平成24、25、27、28、29、30、令和5年度)
- ・利用者・ヘルパー交流企画(平成24年度～平成27年度)
- ・長期休暇オープンスペース(平成25年度～平成27年度)
- ・腰痛予防研修(令和元年度)
- ・第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み(平成26年度)
- ・「虐待防止委員会の設置に向けて」「障害者虐待について学ぼう～概論・施設の対応・虐待対応の流れ」(令和3年度)※権利擁護ワーキングと共催
- ・「虐待と向き合う～お互いが笑顔になる支援を目指して～」(令和4年度)※権利擁護ワーキングと共催

【構成団体】

- ①ヘルパーステーションふれあい②訪問介護事業所第2清鈴園③あうる介護サービスセンター④ニチイケアセンター廿日市⑤ニチイケアセンター広島宮内⑥サンキ・ウエルビィ介護センター廿日市⑦ヘルパーステーションケーアイ⑧土谷ヘルパーステーション阿品⑨オムエルヘルパーステーション⑩もみじケア訪問介護事業所⑪(株)アッシュ⑫生協ひろしま介護サービス・廿日市⑬廿日市市社会福祉協議会訪問介護センター⑭エコール在宅介護ステーション廿日市⑮訪問介護事業所な⑯ヘルパーステーション光風⑰訪問介護事業希生

【令和5年度 取組計画】

ヘルパーのスキルアップのための研修

- ・救命講習
- ・講演会
- ・制度学習会

【令和5年度 取組報告】

9月11日(月)、9月25日(月)に、救命講習を開催しました。新型コロナウイルスの影響により、久々の開催となりました。午前と午後枠でそれぞれ約10名のヘルパーが参加し、心肺蘇生の方法やAEDの使用方法等について学びました。

「実際にAEDを借りる場合、地域のどのようなところで借りられるか」「年齢別で対応方法がどのように違うのか」等々、久々の講習ということもあり質問がたくさんあがりました。定期的に講習を受けたり、日頃から救命処置の流れを意識しておくことが大切であることを、改めてみんなで学びました。

定例会については、取組内容についての協議、事業所間の情報共有等を目的に、例年通り隔月1回で開催しました。障害福祉課との制度学習会については、来年度からの報酬改定の時期に合わせて開催する予定です。

また、昨年度に引き続き、権利擁護ワーキングとの共催で、3月7日(木)に虐待防止研修「福祉サービス従事者による虐待の防止に向けて」(講師：まつたに社会福祉士事務所 松谷恵子さん)を開催しました。



R5 救命講習の様子

地域生活支援部会 防災プロジェクト

【目的など】

障がいのある人や家族、関係機関と連携しながら防災や減災について学習会などを行っています。

また、防災などを通じて地域との連携などについても取り組んでいけるよう検討します。

【これまでの主な取組】

- ・ 防災に関するアンケートを当事者団体や事業所の協力を得ながら実施し集約する。
- ・ 研修「災害に備え、今から、やっておくこと」
～防災を切り口に新しい福祉の形を創り出そう～(平成23年度)
- ・ 障がい別会議合同消防訓練(あいプラザ)(平成27年度～)
- ・ レッドゾーンにお住いの障がいのある方への個別訪問(令和元年度～)
- ・ 「災害時における障がいのある人の避難支援に関する会議」の開催(令和元年度～)
- ・ 地域生活支援システム緊急時連絡票の様式に、災害時に関する項目を追加(令和元年度～)



会議の様子

【構成団体】

- ①市危機管理課②市健康福祉総務課③市障害福祉課④市社会福祉協議会
- ⑤きらりあ

【令和5年度 取組計画】

- ①障がい別会議合同避難訓練(あいプラザ)
- ②障がいのある人の避難支援の仕組みに関する検討
- ③土砂災害特別警戒区域等に在住で自力避難が難しい方の個別訪問

【令和5年度 取組報告】

防災プロジェクトでは、それぞれの所属での取組について情報共有や意見交換をしながら、引き続き「障がいのある人の避難支援の仕組みに関する検討」を行いました。

令和4年度に引き続き最優先課題として「土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)在住の障がいのある方で、自力避難が難しい方」の個別避難計画作成に取り組むこととし、相談支援部会にも協力を呼びかけました。新たに土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)に認定された地区もあるため、対象世帯へは優先的に訪問し、関係者で個別避難計画について話し合っていくことにしました。また今後は、医療的ケアが必要な重度の障がいのある方で自力避難が難しい方のお宅にも関係者で訪問し、現地確認や現状についてお話を伺い、計画作成していけるよう協議、検討しました。

また、3月18日(月)に居住系・入所系・日中活動系事業所のみなさんを対象に「災害時における障がいのある人の避難支援に関する会議」を開催し、プロジェクトメンバーによる防災情報の共有と、事業所での取組の現状や課題について、15法人19名の皆さんと意見交換を行いました。

その他、3月11日(月)に開催されたあいプラザでの消防訓練については、各障がい別会議(身体障がい部会・知的障がい部会・精神障がい部会)へ参加を呼びかけ、46名の皆さんの参加がありました。

地域生活支援部会 地域生活支援システムプロジェクト

【目的など】

国が示した「地域生活支援拠点」(障害者の重度化・高齢化や「親なき後」を見据えた、居住支援のための機能をもつ場所や体制)を整備するため、本市に必要な地域生活支援システムのあり方等を検討し、「障がいのある人が、地域で安心して暮らし続けることができる仕組み」をつくることを目的としています。

【これまでの主な取組】

- ・プロジェクトによる「廿日市市地域生活支援システム」に関する協議検討(平成28年度～)
- ・「夜間・休日等における緊急時の受け入れ・対応アンケート」(平成28年度)
- ・地域生活支援システムの構築・整備に係る事例研修会～広島県・はつかいち福祉ねっと共催～(平成28年度)
- ・「廿日市市地域生活支援システム緊急時受入等事業」スタート(平成30年度～) ※実施主体は市
- ・「廿日市市地域生活支援システム緊急時受入等事業登録予定(対象)人数アンケート」(平成3年度)
- ・プロジェクトの再編成(令和4年度)

【構成団体】

①廿日市市障害者団体連絡会②日本頸髄損傷 Life Net③友和の里保護者会
通所部④くさのみ作業所⑤あうるホームフィーカ⑥あうる介護サービスセン
ター⑦相談支援事業所あおぞら⑧相談支援事業所くさのみ
(参加事業者調整会議：21法人、緊急登録おすすめワーキング：1団体・5
事業所(法人)、福祉の魅力伝えますワーキング：2団体・7事業所(法人)、
あなたのねがいききますワーキング：7事業所(法人))

【令和5年度 取組計画】

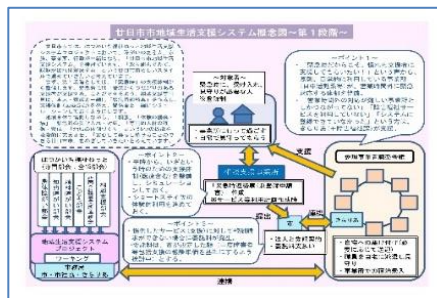
- ①地域生活支援システム運用による課題整理、改善実施
- ②障がい者の重度化・高齢化や「親なき後」を見据えた体制整備についての検討
- ③「緊急登録おすすめワーキング」「福祉の魅力伝えますワーキング」「あなたのねがいききますワーキング」開催
- ④他市町からの情報収集

【令和5年度 取組報告】

緊急時のシステム(廿日市市地域生活支援システム緊急時受入等事業)の一定の整理ができたことから、新編成でのプロジェクトをスタートさせました。

プロジェクトメンバーで今後の取組の方向性についての確認・協議を行った上で、令和4年度中にメンバー募集を行った3つのワーキング「緊急登録おすすめワーキング」「福祉の魅力伝えますワーキング」「あなたのねがいききますワーキング」の取組を進めました。スモールステップで着実に取組を進めていくため、各ワーキングとも2年以内に達成できそうな目標を定め、計画的に取組を進めていくこととしています。

障がいのある人が、地域で安心して暮らし続けることができる仕組みづくりを目指し「緊急登録おすすめワーキング」では改めて対象者の把握のためのアンケート実施、「福祉の魅力伝えますワーキング」ではPRポスター作成に向けた検討、「あなたのねがいききますワーキング」では障がいのある人の願いを聴く会開催に向けたアンケート実施(事業所利用者対象)を行いました。



緊急時受入等事業の概念図

緊急時連絡票(兼)登録申請書の表形式のイメージです。表には「緊急時連絡票」として利用される欄と、「登録申請書」として利用される欄が設けられています。表の上部には「廿日市市地域生活支援システム緊急時連絡票(兼)登録申請書」というタイトルがあります。表の下部には「緊急時連絡票」として利用される欄と、「登録申請書」として利用される欄が設けられています。

緊急時連絡票(兼)登録申請書

相談支援部会

【目的など】

障がい福祉サービス等の利用者全員に作成することとなった「サービス等利用計画(障がい児支援利用計画)」の提供体制整備及び相談支援専門員の資質向上を目的としています。

【これまでの主な取組】

- ・ サービス等利用計画作成に関する講演会、演習等(平成24年度～)
- ・ 事業所間情報交換(平成24年度～)
- ・ 調査活動(タイムスタディ)(平成25年度)
- ・ オリジナル資料作成(虎の巻、計画相談に関する疑問と整理(Q&A)、相談支援専門員一覧)(平成24年度～)
- ・ 事業所紹介(平成24年度～)
- ・ Dropbox活用による情報共有(平成24年度～)
- ・ 事業所見学ツアー、事業所情報シート作成(平成26年度～)
- ・ 第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み(平成26年度～)
- ・ サービス等利用計画作成に関する課題整理と解決方法検討のための実態調査実施(平成27年度)
- ・ サービス管理責任者と相談支援専門員合同研修会(平成27、28年度)
- ・ 事例報告(平成29年度～)

【構成団体】

①相談支援事業所原②さくら相談支援事業所③指定特定相談支援事業所広島ひかり園④相談支援事業所そら⑤障害児相談支援事業所PIECE宮園⑥相談支援事業所くさのみ⑦あうるサポートセンター⑧相談支援事業所いっぽ⑨相談支援事業所あおぞら⑩特定相談支援事業所友和の里⑪相談支援事業所エスペランサ⑫ライフプランナーKIZUNA⑬障がい児(者)相談支援事業所みんなの手⑭広島学びのサポートセンター⑮相談支援センターあんさんぶ⑯アマノリハビリテーション病院⑰生協ひろしま居宅介護事業所・廿日市⑱多機能事業所ぱすてる⑲スプリングコート⑳ウィルサポキッズ廿日市SSTs・ウィルサポキャンパス廿日市㉑Raiz廿日市㉒児童デイサービスねっ子

【令和5年度 取組計画】

- ①相談支援専門員の質の向上、サービス等利用計画の質の向上のための取組
 - ・ 各種情報共有
 - ・ 「学習コーナー(定例部会内)」での学習(制度、計画作成など)
 - ・ 「障がいのある方の支援に関する協議(定例部会内)」
- ②新たな相談支援事業所参入に向けた取組
部会へのオブザーバー参加受け入れ、Dropboxによる情報共有で新規参入事業所等へのフォロー

【令和5年度 取組報告】

隔月で相談支援部会と主任相談支援専門員で構成する相談支援部会調整会議(部会の内容等を検討)を行っています。4月には業務効率化のための事務の工夫について、8月には相談支援専門員としての障害児通所支援等について意見交換を行いました。12月には障がいのある方の支援に関する協議を行いました。その中で緊急事態に備えて、地域生活支援システムの緊急時受入等事業の登録の必要性や進め方に関する相談支援専門員の率直な悩みを出し合うことができました。すぐに登録が進まなくても障がいのある人やご家族に確認する必要がある項目を知ることができた会となりました。

また、1月には健康福祉総務課より災害時の個別避難計画の説明を受けた後、令和6年度から義務化となる自然災害BCP(事業継続計画)の進捗確認や日頃の業務に関する情報交換を行いました。



部会の様子

学習・啓発部会 権利擁護ワーキング

【目的など】

権利擁護に関する研修会開催を中心に、はつかいち福祉ねっと全体の権利擁護意識を高めることを目的に取り組んでいます。

【これまでの主な取組】

・研修

「みんなで学ぼう！！権利擁護の基礎について」(平成23年度)

「部会内研修事例におけるスーパービジョン」(平成24年度)

「自己評価について」「みんなで学ぼう！！成年後見制度のイロハ」(平成25年度)

「障害者虐待防止—起こさないために&起こってしまったら—私たちにできること」「成年後見制度のここが知りたい～身近なものとするために～」(平成24年度)

「成年後見制度講演会」「障がいのある人の権利擁護と虐待防止について」「支援者(保護者)が知っておくべき障害年金手続きの始め方・取り組み方」(平成25年度)

「権利擁護研修会～障がいのある当事者の視点から」「安心して暮らしていくために知っておきたいこと」(平成26年度)

「障害者差別解消法が目指すもの」(平成27年度)

「障害者差別解消法ってなに？～法律の概要と活用のポイント～」「障害者の権利擁護について～障害者の虐待防止～」(平成28年度)

「私らしく自己決定」「障害者差別解消法と地域協議会について」(平成29年度)

「不当な差別的取り扱いの禁止と合理的配慮の提供～権利条約の示したもの～」(平成30年度)

「意思決定支援のきほんの“き、”」(令和元年度)「意思決定支援のきほんの“ほ、”」(令和2年度)、「意思決定支援きほんの“ん、”」(令和3年度)

「虐待防止委員会の設置に向けて」「障害者虐待について学ぼう～概論・施設の対応・虐待対応の流れ」(令和3年度)※訪問介護事業所連絡会と共催

「虐待と向きあう～お互いが笑顔になる支援を目指して～」(令和4年度)

※訪問介護事業所連絡会と共催

・合理的配慮好事例の収集(平成30年度～令和3年度)

【構成団体】

①廿日市市障害者団体連絡会②広島県難聴者・中途失聴者団体連絡会廿日市支部③障害者施設・原家族会④相談支援事業所あおぞら⑤さくら作業所⑥くさのみ作業所⑦広島西医療センター⑧市社会福祉協議会

【令和5年度 取組計画】

・研修会開催(はつかいち福祉ねっとのみなさん対象)
・合理的配慮好事例の収集(廿日市市障がい者差別解消支援地域協議会への報告)

【令和5年度 取組報告】

学習としては、3月7日(木)に、訪問介護事業所連絡会と共催で虐待防止研修(講師：松谷恵子さん)を開催しました。前年度に引き続き、各障がい別会議等で合理的配慮好事例の収集を実施し、今年度の事例14件は、3月25日(月)の廿日市市差別解消支援地域協議会で報告しました。

また、作成したパンフレット「障害者差別解消法 合理的配慮等のポイント」を廿日市市民生委員児童委員協議会に配付し、令和6年度から合理的配慮が民間事業者へ義務化されることを踏まえ、廿日市商工会議所に義務化の周知とパンフレットの紹介を行いホームページやメルマガで会員宛てに配信していただきました。



研修会の様子

学習・啓発部会 “障害者週間”ワーキング

【目的など】

障がい者福祉についての関心と理解を深めるために“障害者週間”に啓発活動を行います。

【これまでの主な取組】

ゆめタウン廿日市イベント(平成27年度～令和4年度)

体験コーナー：手話教室、ロービジョン体験等

パネル展示による障害福祉サービス事業所の紹介

障がいのある方の作品展示

はつかいち・みやじま情報センターイベント(令和3年度～令和4年度)

当事者団体や障害福祉サービス事業所のパネル展示

上映：障害者権利条例(絵本)、事業所紹介

廿日市市役所ロビー、市役所前広場啓発販売(令和3年度～令和4年度)

【構成団体】

- ①視覚障害者の会「椿会」
- ②佐伯地区ろうあ協会廿日市支部
- ③日本ダウン症協会(はつかいち)
- ④Hana と花舎
- ⑤リバティーはつかいち
- ⑥広島ひかり園
- ⑦なずな
- ⑧ピクトハウス
- ⑨あおぞら
- ⑩きらほし
- ⑪くさのみ作業所
- ⑫りあん
- ⑬おおの共同作業所
- ⑭さくら作業所
- ⑮あいあい作業所

【令和5年度 取組計画】

“障害者週間”での取組、啓発活動
(障がい別会議+福祉就労ワーキング)

【令和5年度 取組報告】

障害者週間に合わせ、12月4日(月)～11日(日)の期間、あいプラザのロビーにて、13の事業所や団体のパネル展示を行いました。

パネル展示では、各事業所や団体の活動内容や、利用者の取組などが紹介されました。就労継続支援B型や生活介護の事業所のパネルでは、利用者が制作している製品や、利用者が働く様子、行事やイベントの様子が写真などで紹介されていました。

展示期間中は、多くの来場者があり、パネルに熱心に目を通す姿が多く見られました。



R4 ゆめタウン廿日市にて
手話の体験教室、啓発展示




R5 あいプラザ啓発展示の様子

学習・啓発部会 “発達障害啓発週間”ワーキング

【目的など】

発達障がいについての関心と理解を深めるために世界自閉症啓発デー、発達障害啓発週間に啓発活動を行います。

【これまでの主な取組】

- ・新宮中央公園でのブルーライトアップ(平成30年度～)
- ・シンボルキャラクター募集・オリジナルTシャツ製作(令和元年度)
- ・はつかいち  アート展～“発達障害啓発週間”作品展～(令和元年度～)
※令和2年度は中止
- ・作品展新名称募集
⇒「はつかいち カラフル・アート展」へ変更(令和3年度～)

【構成団体】

- ①廿日市市障害者団体連絡会②廿日市市障害者福祉協会③広島ひかり園④ふれあい生活介護事業所⑤あおぞら・きらほし⑥あうるワークスペース⑦こどもひろばういず⑧放課後等デイサービスつなぐ・つなぐじごぜん

【令和5年度 取組計画】

- ①“発達障害啓発週間”(世界自閉症啓発デー)での啓発活動
→ライト it up ブルー広島 in 廿日市市
→第4回 はつかいちカラフル・アート展～“発達障害啓発週間”作品展～
- ②ワーキングの開催にて、啓発活動に効果的な取組を考案し企画する。

【令和5年度 取組報告】

“発達障害啓発”イベント(「ライト it up ブルー広島 in 廿日市市」(ブルーライトアップ(※))「第4回 はつかいち カラフル・アート展～“発達障害啓発週間”作品展～」)を開催しました。

会場は、はつかいち美術ギャラリー、市民ホール、はつかいち・みやじま情報センター、山崎本社みんなのあいプラザです。展示作品の感想を付箋に記入し、桜の木とリンゴの木に貼っていく企画を実施し、作者にその感想が伝わるようにしました。作品の製作に取り組んでいる事業所より、「次の作品制作への意欲ややりがいを感じることができ、大変良かった」という意見がありました。次回の作品展でも継続して取り組むことをワーキングで決定しました。

ワーキングの回数を増やし、みんなで話し合いながら、令和6年度に向けたイベント企画の見直しや改善を図りました。作品の展示場所や効率的な障がいについての啓発など検討しました。

※自閉症・発達障がい啓発のシンボルカラーである“ブルー(青)”は、「癒し」や「希望」を意味し、全国各地でブルーライトアップが行われています。



シンボルキャラクター



Tシャツ
(ワーキングで作成)



ブルーライトアップ(桜の木)



手づくり横断幕・啓発ポスター掲示



山崎本社みんなのあいプラザ



市民ホール(はつかいち図書館前)



はつかいち美術ギャラリー



はつかいち・みやじま情報センター